

九州・沖縄地域部会

1. 令和6年度活動方針

【基本方針】

九州・沖縄地域の産学官から真に頼りにされ、必要とされる産技連組織を構築する。具体的には、地域の中堅・中小企業の技術力の向上を支援し、地域経済を活性化することを目的として、公設試・産総研九州センターの研究者・技術者の基礎的・基盤的な能力を高めていく。また、県の枠を越えて形成した人的広域ネットワークを活用し、地域産業の振興に貢献する。

(1) 6つの分科会と2つの研究会を支援し、一層の活性化を図る。

＜分科会＞ ①窯業・ナノテク・材料技術分科会、②資源・環境・エネルギー分科会、
③情報・電子分科会、④ライフサイエンス分科会、⑤機械金属分科会、
⑥デザイン分科会

＜研究会＞ ⑦天草陶石の未利用資源に関する活用研究会、⑧無焼成プロセス研究会

(2) 九州・沖縄地域における広域的な人的ネットワークの強化・連携を促進するとともに、中堅・中小企業の課題解決への支援を各機関が協力して実行する。

【重点活動】

(1) 広域連携推進検討 W/G の運営

九州・沖縄各県公設試の企画担当者、九州・沖縄地域産技連担当者、産技連九州・沖縄地域部会担当者及びオブザーバー(九州地方知事会等)をメンバーとする本 W/G において、産技連九州・沖縄地域部会並びに九州・沖縄地域産技連の様々な事業の連携を図り、それらに関する議論を活発に行うことにより、公設試並びに産総研九州センターの広域連携の基本的戦略を構築し、情報交換、人的ネットワークの構築、共同研究の立ち上げ等を推進する。また、引き続き九州地方知事会等との連携の維持・強化を図る。

さらに、近年九州地域で重要度が高まっている半導体産業への貢献のあり方について意見交換を行う。

(2) 地域部会総会の開催と分科会・研究会活動の推進

地域部会総会を開催し、それに加え公設試間のネットワーク形成を促進するような取組みを検討する。また、各分科会は年1回程度、研究会は年2回程度開催し、地域産業の課題解決に資する関連研究開発プロジェクト提案に向けた活動等を行うとともに、共通課題を掘り起こし、明確にして、その課題を解決すべく広域連携で取り組む。

(3) 九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会の開催

公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会を開催し、研究者・技術者としての知見、スキルの向上に努めるとともに、研究者相互の広域的な人的ネットワークの構築を図る。

2. 現在までの活動状況

【重点活動に対応する活動状況】

(1) 広域連携推進検討 W/G の運営

九州・沖縄地域産技連と産技連九州・沖縄地域部会が連携して、第1回 W/G を令和6年6月4日産総研九州センターにて開催。

第1回 W/G は、九州・沖縄地域産技連企画調整会議と合同で開催し、「九州・沖縄地域部会総会・分科会」、「九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会」等、各々の事業の実施方針や具体的なスケジュール等について協議。

(2) 地域部会総会の開催と分科会・研究会活動の推進

九州・沖縄地域部会総会については、広域連携推進検討 W/G において開催方法等を検討し、令和7年2月13日鹿児島県にて九州・沖縄地域産業技術連携推進会議と合同開催する方向で九州経済産業局など関係機関との調整を実施。

<分科会(①～⑥)・研究会(⑦～⑧)>

- ①窯業・ナノテク・材料技術分科会 11月21～22日 沖縄県那覇市
- ②資源・環境・エネルギー分科会 12月5～6日 福岡県久留米市
- ③情報・電子分科会 1月20～21日 鹿児島県霧島市(予定)
- ④ライフサイエンス分科会 12月5～6日 大分県大分市
- ⑤機械金属分科会 11月14日 オンライン開催
- ⑥デザイン分科会 12月5～6日 佐賀県佐賀市
- ⑦天草陶石の未利用資源に関する活用研究会 10月29日 オンライン開催
- ⑧無焼成プロセス研究会 3月(予定)

(3) 令和6年度(第20回) 九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会の開催

宮崎県工業技術センターに協力頂き、令和6年7月11日～12日宮崎市においてリアル形式で開催。九州・沖縄の公設試及び産総研九州センターからの研修生(11名)をはじめ、講師やスタッフ等を含めて計27名が参加。

研修会では、①経済産業省 研究開発課より「科学技術・イノベーションをとりまく最近の政府の動きについて」と題しての講義、②研修生によるショートプレゼン、③研修生間の個別の情報交換会、④3班に分かれ意見交換を実施し内容を発表。また、⑤伊勢化学

工業、および⑥宮崎県工業技術センターを訪問し、概要説明及び施設見学を実施。
参加者からは新たなネットワークの構築ができた等との声が聞かれ、好評であった。

【上記活動状況を含め、現在までの活動全般で特筆すべき内容の詳細】

3. 今後の予定、課題等

【今後の予定】

九州・沖縄地域産業技術連携推進会議と産技連九州・沖縄地域部会総会を、令和7年2月13日鹿児島県にて合同開催予定。

また、3月に第2回広域連携推進検討W/Gを開催し、令和6年度事業のレビュー、令和7年度同事業の方針・内容等について協議することとしている。

【活動の具体的な成果及び成果見込み】

各事業をつうじ新たな人的ネットワークの構築や研究者・技術者の知見、スキルの向上に繋がっている。

【課題等】

人的ネットワークの構築は着実に進んでいるものの、ネットワーク形成による広域的な課題解決や共同研究など具体的な取り組みに発展していない。

4. 令和7年度活動方針案

【基本方針】

九州・沖縄地域の産学官から真に頼りにされ、必要とされる産技連組織を構築する。具体的には、地域の中堅・中小企業の技術力の向上を支援し、地域経済を活性化することを目的として、公設試・産総研九州センターの研究者・技術者の基礎的・基盤的な能力を高めていく。また、県の枠を越えて形成した人的広域ネットワークを活用し、地域産業の振興に貢献する。

(1) 6つの分科会と1つの研究会を支援し、一層の活性化を図る。

＜分科会＞ ①窯業・ナノテク・材料技術分科会、②資源・環境・エネルギー分科会、
③情報・電子分科会、④ライフサイエンス分科会、⑤機械金属分科会、
⑥デザイン分科会

＜研究会＞ ⑦天草陶石の未利用資源に関する活用研究会

また、地域産業の振興や課題解決に貢献する新たな分科会、研究会の設置を奨励する。

(2) 九州・沖縄地域における広域的な人的ネットワークの強化・連携を促進するとともに、

地域中堅・中小企業の課題解決への支援を各機関が協力して実行する。

【重点活動】

(1) 広域連携推進検討 W/G の運営

九州・沖縄各県公設試の企画担当者、九州・沖縄地域産技連担当者、産技連九州・沖縄地域部会担当者及びオブザーバー(九州地方知事会等)をメンバーとする本 W/G において、産技連九州・沖縄地域部会並びに九州・沖縄地域産技連の様々な事業の連携を図り、それらに関する議論を活発に行うことにより、公設試並びに産総研九州センターの広域連携の基本的戦略を構築し、情報交換、人的ネットワークの構築、共同研究の立ち上げ等を推進する。また、引き続き九州地方知事会との連携の維持・強化を図る。

さらに、引き続き半導体産業への貢献のあり方について意見交換を行う。

(2) 地域部会総会の開催と分科会・研究会活動の推進

地域部会総会を開催する。また、各分科会は年1回程度、研究会は年2回程度開催し、地域産業の課題解決に資する関連研究開発プロジェクト提案に向けた活動等を行うとともに、共通課題を掘り起こし、明確にして、その課題を解決すべく広域連携で取り組む。

(3) 九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会の開催

公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会を開催し、研究者・技術者としての知見、スキルの向上に努めるとともに、研究者相互の広域的な人的ネットワークの構築を図る。

令和5年度の部会・地域産技連内のトピックスを 50～80 字程度でご記入ください。

※部会・地域産技連の活動をまとめたパワーポイントスライドの作成に利用します。

九州地域で重要度が高まっている半導体産業への貢献のあり方について意見交換を行った。九州センター、各県公設試が半導体産業支援の取り組みを紹介した。